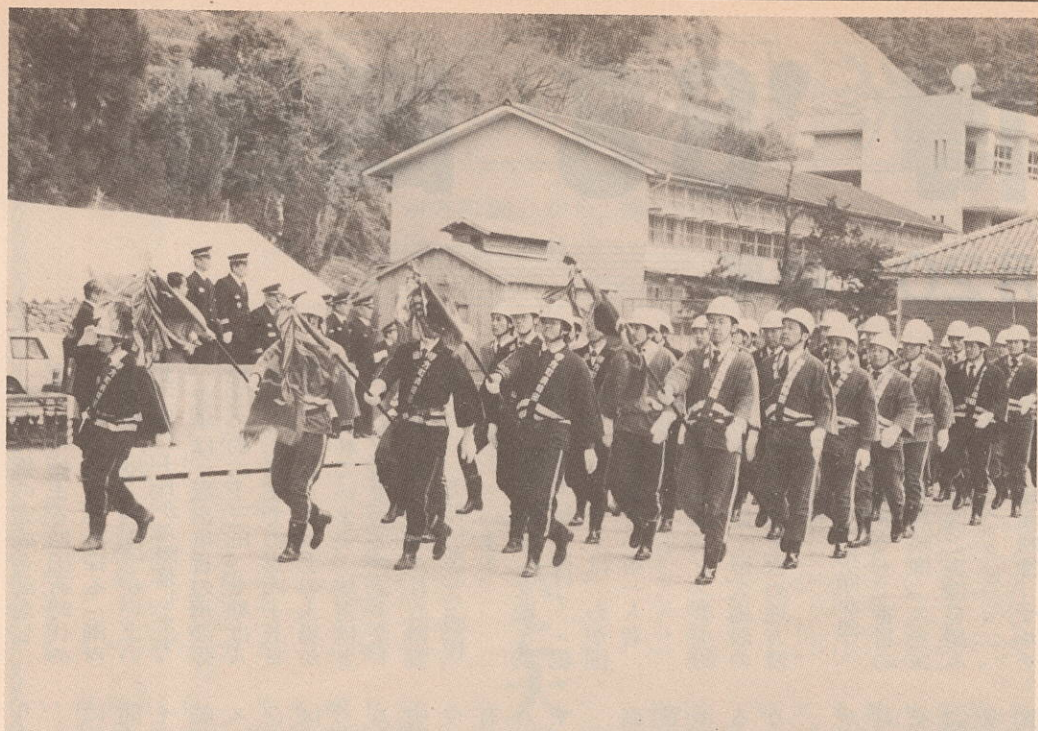




発行所 伊方町  
 愛媛県西宇和郡伊方町湊浦  
 〒796-03 伊方局38-0211  
 編集課 豊社  
 印刷所 豊社  
 八幡浜市松柏 ☎22-0144

# 恒例の消防出初式盛大に

町消防団(三好章一団長)恒例の出初式が、三月六日に伊方中学校グラウンドで開かれ、町内十九の分団から三百三十五人の消防団員、四国電力伊方発電所消防隊十八人が勢ぞろい。消防団員の心意気を示しました。



〔写真上〕 分列行進する消防団員 〔写真下〕 役場前の物揚場での一斉放水

## 今月の紙面

二面……春の全国交通安全運動  
 町健康づくり推進大会  
 三面……民話と伝説「豊之浦」  
 四面……歳時記「摘み草」

式典は午前九時から始まり、人員報告、服装や機械器具の点検、選抜分団による小隊訓練が行われました。続いて、ポンプ操法、八幡浜地区施設事務組合消防本部による救助隊はしご車訓練、このあと、優秀団員や無火災分団の表彰、福田町長の訓辞や来賓多数の祝辞があり式典を終了しました。式典終了と同時に役場前の物揚場へ移動、伊方港に一斉放水を行い、つめかけた観衆を魅了しました。

この日表彰された皆さんは次のとおりです。  
 一敬称略  
**60人**

### 表彰

- 〔日本消防協会 長表彰〕  
堀内利和 (向)
- 〔県知事表彰 功績章〕  
堀江文一 (西)
- 三好昇一 (湊浦)
- 〔眞消防協会長 表彰〕  
井田 繁 (畑)
- 功績章 宮本 勤統章
- 〔町長表彰〕  
宮崎敏郎・米田哲也(大浜)  
山口靖・田中成喜(中之浜)  
渡辺浩吉・上田勝彦(河内)  
政本吉久・中田信幸(湊浦)  
吉本昇二郎・三好利文(小中浦)  
増見芳幸・福田茂志(中浦)  
中川早男・岡本惣一郎(川永田)  
松田正・井上充彦(豊之浦)  
水沼仁・辻幸男(伊方越)  
井上恵隆・窪田満男(亀浦)  
大沢隆(奥)  
下向栄治(向)  
竹本多賀雄・竹本和彦(須賀)  
根来六公(西)  
大野信幸(二見)  
藤田龍之輔(古屋敷)  
山瀬勝也(田之浦)
- 〔町長感謝状〕  
飛田春樹・三浦秀夫(中之浜)  
川口清二郎(湊浦)

- 〔八西消防団連合会長表彰〕  
規律章 泉清夫(大浜)  
中田照喜(中之浜)  
松下英満(仁田之浜)  
土井富美男(河内)  
吉本長治(小中浦)  
矢野佐一郎(中浦)  
井関敏朗(伊方越)  
池田義弘(奥)  
堀内博幸(向)  
山口温・得能正(畑)  
高田佐喜夫(西)  
山本睦夫(二見)  
山本桂一(田之浦)
- 〔団員家族内助功労者〕  
大通香代子(小中浦)
- 〔無火災分団表彰〕  
特筆頭級 第二分団(仁田之浜)  
第八分団(川永田)  
第十五分団(西・久保)  
筆頭級 第六分団(小中浦)  
第十九分団(鳥津)

## 家族ぐるみで加入を

### 交通災害共済

今年も交通災害共済の加入手続き時期になりました。万一に備えて家族ぐるみで加入しましょう。

中学生以下…二百五十円  
 (S48.4.2以後に生まれ  
 たる人)  
 〔共済期間〕  
 昭和六十三年四月一日から昭和六十四年三月三十一日まで。期間中はいつでも加入できます。  
 〔加入資格〕  
 町内に居住し、住民基本台帳及び外国人登録されている人。また、高校生や大学生などで町外に居住している人も加入できます。ただし、この場合は世帯主の加入が必要です。  
 〔災害見舞金〕  
 災害見舞金は左表のとおりです。加入者であれば日本国内どこで発生した交通事故でも適用されます。ただし無免許運転、飲酒運転などの特別な場合には見舞金が支給されない場合があります。  
 〔問い合わせ〕  
 手続きや災害見舞金などについては役場総務課までお尋ねください。

### 保育園児

今年も保育所の園児は全員町費で加入することになっていますので、手続きの必要はありません。

### 災害見舞金

等級	災害の程度	金額
1	死亡	100万円
2	医師の治療実日数360日以上の傷害	20万円
3	医師の治療実日数180日以上360日未満の傷害	17万5千円
4	医師の治療実日数96日以上180日未満の傷害	15万円
5	医師の治療実日数80日以上96日未満の傷害	12万5千円
6	医師の治療実日数64日以上80日未満の傷害	10万円
7	医師の治療実日数48日以上64日未満の傷害	7万5千円
8	医師の治療実日数32日以上48日未満の傷害	5万円
9	医師の治療実日数16日以上32日未満の傷害	3万円
10	医師の治療実日数7日以上16日未満の傷害	1万円

# 瀬戸大橋博 '88・四国

## 3月20日開幕



博覧会会場と瀬戸大橋

瀬戸大橋の完成を記念し、そこから始まる四国新時代の望ましいあり方を探る「瀬戸大橋博 '88・四国」がいよいよ三月二十日から開幕します。会場は、坂出市番の州沙弥地区の約六十三ha。会期は八月三十一日までの百六十五日間で、三百万人以上の入場が見込まれています。地方博とはいえ、国家的プロジェクトの完成を祝って開かれる博覧会だけに、万博に準じた規模の内容を誇っています。

メインテーマは「交流と創造—二十一世紀へ向けて」。総合プロデューサーは、わが国における博覧会の第一人者、泉真也氏。

パビリオンは、シンボリック存在のテーマ館、恒久施設の瀬戸大橋記念館を含め地方博最多の三十四館。

全体として映像指向が強く、わが国初、世界でも二番目の三百六十度全周映像「スイスラマ」や、虚像と実像を組み合わせた「マジックビジョン」、立体映像、球面映像、マルチビジョンなど現代の映像技術の集大成がこの博覧会に集ま

ります。このほか、吐き出す水を霧にしてしまう「霧の噴水」、人間そっくりの動きをする「サイイボット」、動物の形をした風船が演じる「バルーンサーカス」、宇宙遊泳が体感できるマシーンなど、見どころがいっぱい。

本造としては日本最大のドームをもつイベントプラザでは、中国西安市からの大型歌舞団、ウイーンの森少年合唱団から有名タレント、郷土芸能まで八百回以上の公演が行われます。

さらに、プレイランドには高さ八十八m、世界一の大観覧車が登場。世界でも唯一のホワイトタイガー十六頭による猛獣ショーが売り物のサーカスも必見です。

なお会場へは、広い駐車場があるとはいえ混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

(問い合わせ先)  
坂出市番の州緑町六一一  
(財)香川県瀬戸大橋架橋記念博覧会協会(T.E.L) 〇八七七(四五)二二二二

## 町健康づくり推進大会

### 400人参加



手作り健康食の試食コーナー

「高齢化社会の健康づくり」をテーマに、第九回健康づくり推進大会が三月二日、伊方町民会館で開催されました。

この大会は、保健センターが開設された昭和五十四年から毎年行われています。

当日は健康に関するパネル展(老人保健事業の紹介)、手作り健康食試食コーナーなどが催され、およそ四百人が参加しました。

大会は町健康づくり推進協議会のあいさつで始まり、大浜の谷口清子さんら三十三名に三歳児ムシ歯ゼロの母親表彰のあと、高橋八幡浜保健所長はじめ各来賓者の祝辞がありました。続いて町家庭看護学級生の古田ヤスミさん(二見)が実践報告、松本陽子健康体操研究所の十人によるスポーツティンダジャギ(健康体操)を披露し、参加者全員が手足を動かす運動をしました。最後に、予防から健康づくりへ—と題して木村慶先生(愛媛大学医学部)による記念講演があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 高田健一さん(豊之浦) 人命救助で感謝状

豊之浦の高田健一さん(六十三歳)が人命救助で町防犯協会長(会長福田直吉)から感謝状が贈られました。

高田さんは、昭和六十二年十二月二十七日午前十時二十五分ごろ豊之浦港の岸壁付近で、近所の友だちら五、六名と魚つりなどをしていた六歳の男の子が誤って海へ落ちたのを現場近くの自宅で見つけたと素足の



ままかけつけ、海中に沈みかけになっておぼれている子供をみつけ、着のみ着のまま海中へとびこみ救助したものです。

尊い人命を救助された高田さんに深く感謝申し上げます。また、こうした水の事故がおこらないよう子供さんをお持ちの家庭では、海岸など危険な場所での遊びには十分注意をしてください。

## 春の全国交通安全運動

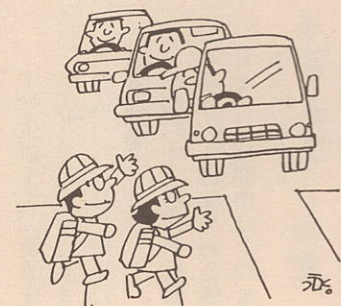
### 4月6日～15日

春は行楽のシーズン。クルマ社会を上手に生きよう

暖かな陽気に誘われて、春は外出する機会が多くなるものです。しかし現代は「クルマ社会」一歩外へ出たならば、わたしたちは常に交通事故の危険にさらされているといっても過言ではありません。とくに四月は、新入学、新入園の季節でもあり、歩き慣れない道を通って学校や保育所に通う子供

暖かな陽気に誘われて、私たちの交通事故が心配されます。このため、今年も四月六日から十五日までの十日間、「春の全国交通安全運動」が行われます。子供と最近とくに多くなっているお年寄りの交通事故を防止するために、皆さんで交通ルールを確認し、交通マナーを高めていきたいものです。

お年寄りの交通安全  
最近はお年寄りが交通事故に遭うケースが急増しています。だれでも年をとると、自分では大丈夫と思っても、体が思うように動かなくなってしまうもの。ドライバーの方は、お年寄りをみかけたら細心の注意を払い、思いやりのある運転を心がけてください。また、



交通安全

# 説伝と民話

取材先/「伊方町誌」から 補作/岡村 豊  
挿絵/山本一路(湊浦)

52

## 新しい家族

### 夫婦で子育て

6

けんかをしたい親もいます。けんかからいけるような子であってほしいという親もいます。実際には子供のけんかは少なくなっています。

### 子供のけんか

けんかをしたい親もいます。けんかからいけるか分かりません。けんかをしていく子供は一生懸命で

でいじめが多発して、対等な者のけんからしい争い、つまりけんかが減少しているのが現実です。なぜけんかが少なくなったのでしょうか。理由はよく分かりません。物が豊かになったので、取り合いの機会が少

友達と自分の要求が一致しない、主張がくい違ふ、利害が対立した、このようなとき相互が譲らず、一方が相手を攻撃し、他方がこれに反撃したときけんかになります。腕力を用いられることもあります。口げんかのこともあります。特徴は真剣に争っていること

す。怒りがはげしく燃えている様子が見ても分かりません。一方に争う気がなくて逃げまわっていたり、力の優劣がはっきりしている場合は、いじめ、いじめられ関係といひ、けんかとはいひません。学校

なくなつたことでもあります。仲間や兄弟と深く接触することが少なくなつたということもありません。表面的にはおだやかで協調性に富んだ子供が多くなつていますが、弱い立場にある子供をいじめ、うさばらしをする子供も

いるのです。けんかから得るものは少なくありません。自分の意志や考えをどうすればいいか、相手と自分の妥協点をどこに見いだしたらよいか、けんかをした相手とどうすれば仲直りができるか、このようなことは実際の経験を通して覚えていくものです。人生にトラブルはつきものです。トラブルを回避する方法、トラブルのあとの処置などを、けんかの経験から子供は習得していきます。

辞さない態度は、男子にも女子にも必要です。けんかには自然のルールがあります。素手でやる、急所を打たない、弱いものをいじめない、相手が謝つたら深追いしない、などです。子供のけんかは当事者に危険のない限り、おとなは見守っているほうがいいです。

東京都立大学教授・心理学 詫摩 武 俊



引っ越しのとき電気の手続きもお忘れなく

引っ越しが決まったら、お早目に、引っ越しおられる日時をお近くの四国電力近営業所(店)にお知らせください。

### カボチャと大蝟の話

豊之浦

まあ、聞いてやんなはしいや。昔のことじゃがのう。九州は竜造寺家の家来であつた辻一族の話です。なんでも長い長い戦があつての、双方ともたくたくに疲れてしもうたので、談合になつていいます。

「大将同士が出合い、一騎討ちで勝負を決したらどうなら」

「はい、待つてましたとばかりに、相手の総大将黒川権左衛門源八が、倒れた辻三郎

「おのれこな、蝟までもこの一族を馬鹿にするのか」と持つていた蝟で、その大蝟をメチャクチャにたたきのめしたそうです。はい、ほいたらな、ほれ、昔は侍じやろうが

「おのれこな、蝟は珍しい。さあ、みんな食べようぞ。」

と、いふことで意見が合いました。な、それぞれの総大将が戦うことになつたそうです。どつちとも弱つてはおつたが、それが、そんな最後の力をふりしぼつて、丁丁発止と渡り合つたみたいです。それでも、なかなか勝負がつかなんだそうです。どつちもが、何くそ負けてたまるも

右衛門正勝を押しこみ、馬乗りになつて脇差しをとるや、喉元めがけてブスッと突き刺したそうです。おとろし

「皆の者、がいにせわになつたの、私は一足先に主人のそばへまいるが、どがいなことがあつて

「おのれこな、蝟までもこの一族を馬鹿にするのか」と持つていた蝟で、その大蝟をメチャクチャにたたきのめしたそうです。はい、ほいたらな、ほれ、昔は侍じやろうが

「おのれこな、蝟は珍しい。さあ、みんな食べようぞ。」



「おのれこな、蝟までもこの一族を馬鹿にするのか」と持つていた蝟で、その大蝟をメチャクチャにたたきのめしたそうです。はい、ほいたらな、ほれ、昔は侍じやろうが



21世紀の児童像を求める校長先生

## 学校めぐり

2

### 二見小学校

校長 竹本 顕

### 「亀ヶ池」のほとりで

明治十年の開校以来百有余年、現在の本校の規模は、学級数六、児童数八十五名、教職員十一名である。へき地指定一級の小規模校、佐田岬半島の基幹の町、伊方町の西端に位置する。国道一九七号の走る稜線、平石峠から眼下に宇和海と共に展望できるリゾート感覚の本校校舎、北側は「亀ヶ池」に面しており、小高い山が三方より「亀ヶ池」をつむように迫ってくる。山の傾斜面には、南子特有の段々畑が見られ、池と海との山とけ合う風光明媚な所である。

「こゝ「亀ヶ池」は、周囲二キロメートル、面積一〇ヘクタール、水深十三メートルである(伊方町誌)。い

歳時記

摘み草

とけかかった雪の下から、黄緑色のフキノトウがのぞいているのを見つけた時のうれしさ。着ぶくれから解放されて外に出てみたら、いつの間にかツクシが顔を出していたのを発見した時の感激。

摘み草は、春を迎えて心はずむ気分にはびったりの楽しい行事です。縦に長い日本列島のことで、摘み草の時期はまちまちですが、特に冬、雪にとざされる北国では、摘み草は待ち遠しい行事のひとつです。

もともと、都会人にとっては、摘み草はレジャーですが、農山村では、食料を得るための仕事でもあります。

ところで、実は最近では摘み草というより山菜狩りという言葉のほうがポピュラーです。春の野で若菜を摘むだけでなく、山の中まで山菜を探しに行くからなのでしょう。

近ごろの山菜ブームはやや過熱気味です。細い山道にトラックで乗りこみ大量の山菜を採取する、タラの芽などは、先を争って固いうちに持ち帰ってしまったり、来年のことも考えずに芽を全部摘んでしまう、自然の味覚を楽しむのは結構なのですが、こうなると「春の野にいでて若菜摘む」という古今和歌集の風情には程遠い感じですね。



若菜とともに樹木の緑も目ざめます。3月～5月は「国土緑化運動強調月間」です。この期間中の5月22日に、香川県で全国植樹祭が行われます。今年のテーマは「今、人と緑のふれあい」です。

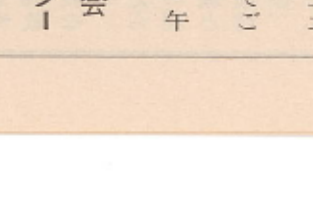
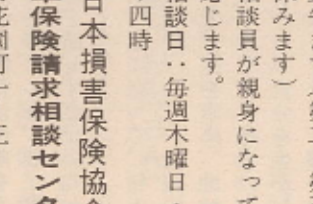
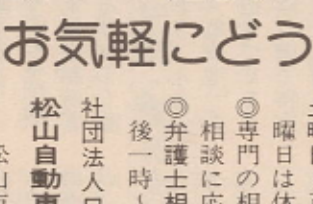
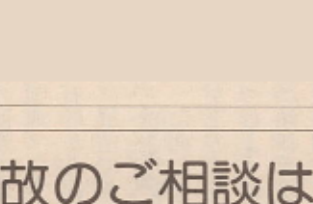
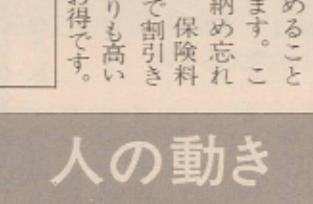
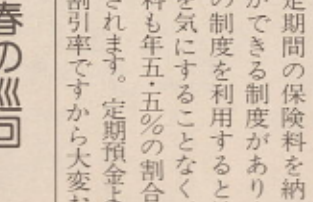
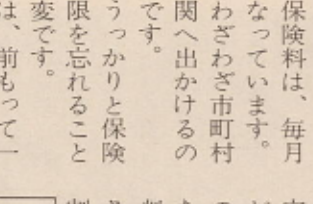
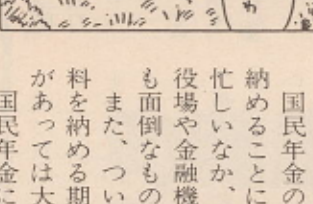
神戸市東灘区御影中町八丁目五―一九にお住いの岡新さん(湊浦出身)から十万円。広報編集費用にご寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

【お礼】

日時 四月八日(金) 十時～十五時  
場所 八幡浜市北浜一丁目 八幡浜市役所 二階二〇一会議室  
協力団体 愛媛弁護士会他

さわやか君

西村 宗



児童手当法が改正され、昭和六十一年六月から段階的に実施されています。三年目の今年は、四月一日から次のように支給対象範囲が変わります。

新たに支給該当になるかは三月三十一日までに認定請求を行ってください。

○支給対象範囲の拡大(第二子分) 今年三月三十一日までは「昭和五十八年四月二日以降に生

○支給対象範囲の縮小(第三子以降分) 今年三月三十一日までは「昭和五十三年四月二日以降に生

国民年金の保険料は、毎月納めることになっています。忙しいなか、わざわざ市町村役場や金融機関へ出かけるのも面倒なものです。

国民年金の保険料は、毎月納めることになっています。忙しいなか、わざわざ市町村役場や金融機関へ出かけるのも面倒なものです。

国民年金の保険料は、毎月納めることになっています。忙しいなか、わざわざ市町村役場や金融機関へ出かけるのも面倒なものです。

国民年金の保険料は、毎月納めることになっています。忙しいなか、わざわざ市町村役場や金融機関へ出かけるのも面倒なものです。

国民年金の保険料は、毎月納めることになっています。忙しいなか、わざわざ市町村役場や金融機関へ出かけるのも面倒なものです。

児童手当

支給資格がかわります

請求手続きは3月31日までに

町内の交通事故

発生件数 24件 (2月...15件) 負傷者数 6名 (2月...3名)

新学期を前にして新しく自転車を買ってもらった子供たちが、まだ慣れない手つきで自転車に乗っている姿をよく見かけます。

伊方・町見駐在所

人の動き

人口 8,471人 (男4,122人(+7人) (+15人) 女4,349人(+8人)

えんむすび

昭和63年1月1日 氏名 本籍地

交通事故のご相談は お気軽にどうぞ

無料でご相談に応じております。平日：午前九時～午後四時 土曜日：正午まで(第二・第三土曜日は休みです)

固定資産評価替え

今年、三年に一度の固定資産の評価替えの年です。対象となるのは、宅地、田・畑、山林はどの土地についても、建物は据え置き

おくやみ

昭和63年1月1日 死亡者 年齢 住所